（様式１）

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年　6月　27日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	ベネッセ総合学力テスト					
③主な対象者	主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校1年生・2年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○			○
⑥申請する測定ツールの目的･概要	【目的・概要】 ・国語・数学・英語各教科についての、学校の授業内容の定着度把握を目的として、学校の履修進度にそった出題をしています。これにより、履修内容に合った学力の定着度確認と苦手分野の把握を客観的に行います。 ・各教科とも、記述式問題により「知識・技能」から「思考力・判断力・表現力」まで幅広い学力の測定が可能です。 ・紙媒体とWebサービスを複合的に利用することができ、生徒一人ひとりが目標設定～自己採点～結果の振り返り・事後学習のプロセスを自発的に取り組める仕組みとなっています。					
⑦申請する測定ツールの特長･活用例等	【特長】 ・授業進度にあった弁別性の高い問題で、学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」を利用して教科学力を的確に把握することができます。また、学校生活や学習面に関するアンケートを実施し、その変化とともに学力の変化をご確認いただけます。 ・生徒が自身の力で事前の目標設定～受検直後の自己採点～結果返却後の振り返りと事後学習に取り組める仕掛けを、紙媒体およびWebサービス（無料）の組み合わせで用意しています。 ・先生向けに、受検後の教師用資料として学年視点での概況データ、教科視点での分野別データ等をご提供します。Webサービス（無料）として、先生が生徒の各時点での取り組み状況を確認可能ですので、総合的に事後の指導改善にお役立ていただけます。 【活用例】 1年生7月に実施し、高校1年生の1学期段階での「教科学力」の初期把握を行うことで、その結果を2学期以降の学年の指導計画に反映します。1年生11月・1月に継続的に受検することで学年全体・生徒一人ひとりの学力変化を把握し、学年集会や個人面談の際などに生徒の自発的な学習意欲を喚起することが可能です。					
⑧実施期間、年間実施回数	【実施期間】1年生7月・11月・1月、2年生7月・11月・1月　の計6回 各回とも統一実施日を設け、その前後１週間程度を実施可能期間として設定 【お申込み時期】各回とも統一実施日の15～20日前に「申込締切日」を設定					
⑨実施方式（CBT/PBT）	PBTのみ					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
	＜1年生＞ 7月：60分 11月：80分 1月：80分 ＜2年生＞ 7月：80分 11月：80分 1月：90分	＜1年生＞ 7月：80分 11月：100分 1月：100分 ＜2年生＞ 7月：100分 11月：100分 1月：120分	＜1年生＞ﾘｽﾆﾝｸﾞ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ 7月：60分 11月：80分 1月：80分 ＜2年生＞ﾘｽﾆﾝｸﾞ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ 7月：80分 11月：80分 1月：90分 ※学校採点のｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ問題：5分			
⑪受検料	＜1年生＞ 全回：2,820円 ＜2年生＞ 7月：2,930円　　11・1月：3,080円　※すべて消費税等込					
⑫標準返却期間	答案到着後約４～５週間で返却。					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	http://www.bhso.ne.jp　　※教員専用URL					

（様式２）

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト
対象教科: 国語
測定内容の区分:標準タイプ

Ⅰ．出題に関すること

(1)出題の基本方針

□主な対象者
主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校１年生・2 年生

□測定しようとする資質・能力
「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力　等

□出題範囲
1 年生 7 月…高１の７月段階での履修範囲からの出題
1 年生 11 月…高１の 11 月段階での履修範囲からの出題
1 年生 1 月…高１の１月段階での履修範囲からの出題
2 年生 7 月…高２の７月段階での履修範囲からの出題
2 年生 11 月…高２の 11 月段階での履修範囲からの出題
2 年生 1 月…高２の１月段階での履修範囲からの出題
※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針
漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針
文章等から得られた情報をもとに推論するなどの思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

□難易度
平均 40%前後の得点率となる難易度。

(2)構成等

①出題形式
選択式 40%、短答式 30%、記述式 30%程度。

②出題範囲

※配点、設問数ともに同じ。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲（国語総合）	選択科目範囲	備考
1年7月	20%	80%	0%	
1年11月	0%	100%	0%	
1年1月	0%	100%	0%	
2年7月	0%	50%	50%	
2年11月	0%	50%	50%	
年1月	0%	50%	50%	

(3)難易度設定の考え方・方法

・過去の実施データを参考にして作問を行ったうえで、モニター受検を行うことで難易傾向を把握し、調整することで過年度・過回で大きく変動しない難易度としています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

・学校全体で個々の生徒の習熟度が見られるように、難しい問題から易しい問題までバランスよく出題しています。
・一つひとつの問題について丁寧に考え方や解法が書かれた解答解説を通じて、診断後の振り返りができます。

(5)その他特長

・難問、奇問のないスタンダードな出題で、学校の指導の成果を正しく測定することが可能です。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

□個人成績表

実施後、1か月前後で帳票に打ち出して実施校に送付。

実施校より受検生徒に配付。

「個人成績表」で提供する内容は次のとおりです。

・基本データ［得点、順位・平均点（全国、都道府県内、校内）、「学習到達ゾーン」（以下GTZ ※1）］
・各教科間のバランス
・結果の推移（復習する教科の優先順位を発見）
・各教科の設問別成績［設問（単元）単位で全国平均との差を提示し、復習する単元を発見］
・復習教材で取り組むべき設問の提示
・デジタルサービス（Web上の教材）の取り組み状況（自己採点と実際の得点の差異、実施直後から個人成績表返却までの期間におけるデジタルサービスの復習問題の取り組み状況）

※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

□採点済答案・生徒向け復習ガイド冊子（無料）

記述式問題は設問ごとに複数の評価の観点（「○○が書けている」などと提示）を定めており、その評価の観点は、生徒に個人成績表と一緒に配付する復習ガイド冊子の中で明示します。
各評価観点に対する達成度合いは、採点済答案に「○△×－」で表示します。
解答の解説と解答例を生徒向け復習ガイド冊子で提供するとともに、後述するデジタルサービスで復習に取り組むことができます。
上記を各教科の記述式問題のうち重要な設問 2～3 題について実施します。

□デジタルサービス（無料）

受検者個人が取り組む Web 上の復習コンテンツ。
Web 上で自己採点をすると、弱点分野の復習教材が提示され、解説動画が視聴できます。
デジタルサービスの取り組み状況は受検生徒個人、在籍校の教員にフィードバックされます。

(2)学校等への結果提供内容･方法

□教師用成績資料（ダイジェスト版）・・・紙帳票での提供

提供する内容は次のとおりです。

- 「国数英総合」「国英」「数英」のコース集計および各教科の得点、受検者数、平均点等
- 同、度数分布を使った過年度比較、過回推移
- 対策が必要な設問
- 記述問題について、評価観点（ポイント）の達成度合い（○△×－）の度数分布
- 生徒個人の受検結果
  ［得点、順位、「学習到達ゾーン」（以下 GTZ ※1）の一覧。過回の結果を含む］

※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

□教師用成績資料（詳細版）・・・Web サイトからのダウンロード形式で提供

提供する内容は次のとおりです。

- 教師用成績資料（ダイジェスト版）で提供しているデータのクラス別結果
- 記述式問題の評価観点ごとの状況に関する個人一覧

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

□評価について

設問ごとの配点に基づいて得点合計を算出し提供。
学習到達度の目安として、「学習到達ゾーン」（以下 GTZ ※1）を提供。
教科間のバランス比較、過去からの成績推移などは、GTZ 等で確認することができます。
※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

□過去の成績との推移を比較する方法について

実施年度・時期や母集団の差異に起因する得点分布・平均点の違いは、GTZ を用いることで同一尺度での比較が可能となるため、GTZ を中心に PDCA サイクルを回していくことができます。

＜GTZ 設定方法＞

受検者全体のうち上位何%を各 GTZ の下限にするか、過去の受検者の実績を基にあらかじめ決めており、そこに実際の受検者の結果データをあてはめて決定しています。

＜GTZ の目安＞

GTZ の目安は、各教科における到達度を大きく 5 段階に分けて、段階ごとに、各教科の「○○できる」という段階別評価を記載しています。

Ⅲ．運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

・必ず複数名の作問スタッフが問題作成から検討までを行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、さらに実施前のモニター受検を通じてあらかじめ難易のチェックをしているため、毎回同じ難易を維持できています。

(2)学校における実施方法

・弊社から学校に問題・アンケートなどの資材を送り、学校で実施していただきます。マニュアル（教師用ガイド）や手引き（実施の手引き）等で迷いなく、指導・実施ができるように情報を提供。

・問い合わせ窓口を設けており、質問を受け付けられるような体制を敷いています。また、各校に弊社の担当者が拠点ごとに配置されており、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応ができるようになっています。

・学校には、以下①～④を行っていただきます。

①検定日までに受検料の送金

②送付物（実施資材）の内容確認【問題冊子、解答用紙、「実施の手引き」、受検者集計表、返送用小物類】

③当日の試験監督（事前説明、問題冊子等の配付、答案回収等）

④実施後の解答用紙の整理・発送

(3)採点の方法と体制

・弊社では、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

・弊社は、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（P マーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図っています。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。

・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

Ⅳ．情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

①視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応。

②聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスクリプトを該当の受検者に見ていただける用意をして、解答できるよう対応。

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

□事前学習教材

・学習シート（無料）
「受検前」「受検」「受検直後」「成績表返却後」の４つの期に分け、各期でやるべきことを確認できる内容。

・デジタルサービス（無料）
受検した生徒が、動画や一問一答の Web ドリルで基礎事項を確認できる内容。

□事後学習教材

・生徒向け復習ガイド冊子（無料）
自身の弱点をみつけるための帳票の見方、誤答を踏まえた解き方のポイントを紹介した採点講評。

・デジタルサービス（無料）
受検者個人が取り組む Web 上の復習コンテンツ。
Web 上で自己採点をすると、弱点分野の復習教材が提示され、解説動画が視聴できます。
デジタルサービスの取り組み状況は受検生徒個人、在籍校の教員にフィードバックされます。

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

・教科に関すること以外にも学校生活や学習面に関するアンケートを実施し、その変化とともに学力の変化を確認することができます。

(4)個人受検の可否

・学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検不可。

(5)問題内容の情報提供

・問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使用可能。

(6)その他

・教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行なえません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

（様式２）

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト
対象教科:数学
測定内容の区分:標準タイプ

Ⅰ．出題に関すること

(1)出題の基本方針

□主な対象者
主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校１年生・2 年生

□測定しようとする資質・能力
義務教育範囲も含めて、
数学Ⅰ 「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データ分析」
数学Ⅱ 「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」
数学 A 「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」
数学 B 「数列」「ベクトル」
に関する資質・能力　等

□出題範囲
１年生７月…高１の７月段階での履修範囲からの出題
１年生 11 月…高１の 11 月段階での履修範囲からの出題
１年生１月…高１の１月段階での履修範囲からの出題
２年生７月…高２の７月段階での履修範囲からの出題
２年生 11 月…高２の 11 月段階での履修範囲からの出題
２年生１月…高２の１月段階での履修範囲からの出題
※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。
※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針
計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式・短答式・記述式で出題。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針
数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、短答式・記述式で出題。

□難易度
平均 35%前後の得点率となる難易度。

(2)構成等

①出題形式
短答式（一部選択式含む）40%、記述式 60%程度。

②出題範囲

※配点、設問数ともに同じ。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲（数学Ⅰ）	選択科目範囲（数学A）	選択科目範囲（数学A以外）	備考
1年1月	10%	65%	25%	0%	＊1
1年11月	0%	50%	50%	0%	＊1
1年1月	0%	50%	50%	0%	＊1
2年7月	0%	30%	20%	50%	＊1
2年11月	0%	30%	20%	50%	＊1
2年1月	0%	30%	20%	50%	＊1

（＊1）複数の選択大問があるため、必履修範囲の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

・過去の実施データを参考にして作問を行ったうえで、モニター受検を行うことで難易傾向を把握し、調整を施すことで、過年度・過回で大きく変動しない難易度としています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

・学校全体で個々の生徒の習熟度が見られるように、難しい問題から易しい問題までバランスよく出題しています。
・一つひとつの問題について丁寧に考え方や解法が書かれた解答解説を通じて、診断後の振り返りができます。

(5)その他特長

・難問、奇問のないスタンダードな出題で、学校の指導の成果を正しく測定することが可能。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

（略）※国語申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

（略）※国語申請様式参照

(3)試験等の結果（正答状況やスコア等）に対する評価の考え方と分析の手法

（略）※国語申請様式参照

Ⅲ．運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

（略）※国語申請様式参照

(2)学校における実施方法

（略）※国語申請様式参照

(3)採点の方法と体制

（略）※国語申請様式参照

(4)情報管理体制

（略）※国語申請様式参照

Ⅳ．情報開示に関すること

（1）障害のある受検者等への配慮

（略） ※国語申請様式参照

（2）事前／事後学習教材の有無、内容

（略） ※国語申請様式参照

（3）学習状況等のアンケートの有無、内容

（略） ※国語申請様式参照

（4）個人受検の可否

（略） ※国語申請様式参照

（5）問題内容の情報提供

（略） ※国語申請様式参照

（6）その他

（略） ※国語申請様式参照

（様式２）

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ

Ⅰ．出題に関すること

（1）出題の基本方針

□主な対象者

主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校１年生・２年生

□測定しようとする資質・能力

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力　等

□出題範囲

１年生７月…高１の７月段階での履修範囲からの出題
１年生 11 月…高１の 11 月段階での履修範囲からの出題
１年生１月…高１の１月段階での履修範囲からの出題
２年生７月…高２の７月段階での履修範囲からの出題
２年生 11 月…高２の 11 月段階での履修範囲からの出題
２年生１月…高２の１月段階での履修範囲からの出題
※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

□難易度：

・平均 35%前後の得点率となる難易度
・CEFR における「A2～A1」程度

（2）構成等

①出題形式

選択式 60%、記述式（一部短答式含む）40%程度。

Listening：選択式８割程度（7 問程度）、記述式２割程度（1 問程度）。
リスニングＣＤによる音声放送。欠席者対応として「会話表現」での受検が可能。

Reading：選択式５割程度（10 問程度）、短答式３割程度（８問程度）、記述式２割程度（5 問程度）

Writing：選択式 5 割程度（4 問程度）、記述式 5 割程度（３問程度、10～25 語程度）。

Speaking：対面式。（7 問程度）。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数、配点ともに同じ。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲（コミュニケーション英語Ⅰ）	選択科目範囲	備考
1年7月	25%	75%	0%	
1年11月	25%	75%	0%	
1年1月	25%	75%	0%	
2年 7月	10%	80%	10%	
2年11月	10%	80%	10%	
2年 1月	10%	80%	10%	

(3)難易度設定の考え方・方法

・過去の実施データを参考にして作問を行ったうえで、モニター受検を行うことで難易傾向を把握し、調整を施すことで、過年度・過回で大きく変動しない難易度としています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

・学校全体で個々の生徒の習熟度が見られるように、難しい問題から易しい問題までバランスよく出題しています。

・一つひとつの問題について丁寧に考え方や解法が書かれた解答解説を通じて、診断後の振り返りができます。

(5)その他特長

・難問、奇問のないスタンダードな出題で、学校の指導の成果を正しく測定することが可能。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

（略）※国語の申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

（略）※国語の申請様式参照

英語結果については、先生のみに技能別でも行います。

(3)試験等の結果（正答状況やスコア等）に対する評価の考え方と分析の手法

（略）※国語の申請様式参照

Ⅲ．運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

（略）※国語の申請様式参照

(2)学校における実施方法

（略）※国語の申請様式参照

(3)採点の方法と体制

（略）※国語の申請様式参照

(4)情報管理体制

（略）※国語の申請様式参照

Ⅳ．情報開示に関すること

（1）障害のある受検者等への配慮

（略） ※国語の申請様式参照

（2）事前／事後学習教材の有無、内容

（略） ※国語の申請様式参照

（3）学習状況等のアンケートの有無、内容

（略） ※国語の申請様式参照

（4）個人受検の可否

（略） ※国語の申請様式参照

（5）問題内容の情報提供

（略） ※国語の申請様式参照

（6）その他

（略） ※国語の申請様式参照。

（様式３）

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名： 株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名： ベネッセ総合学力テスト
対象教科： 国語、数学、英語
測定内容の区分： 標準タイプ

Ⅰ．出題に関すること

＜**提出任意**の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			Ⅰ．(1)	Ⅰ．(2)	Ⅰ．(3)	Ⅰ．(4)	Ⅰ．(5)

Ⅱ．結果提供に関すること

＜**提出任意**の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			Ⅱ．(1)	Ⅱ．(2)
帳票見本：教師用	教師用成績資料 ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料1		○
帳票見本：生徒用	個人成績表 ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料2	○	
帳票見本：（設置者等報告用）	設置者等への報告書フォーム ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料3		○

Ⅲ．運営に関すること

＜**提出必須**の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項（試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等）	実施案内書 ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料4
学校用実施マニュアル	実施の手引き ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料5

＜**提出任意**の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

Ⅳ．情報開示に関すること

＜**提出任意**の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
事後学習教材：生徒向け復習ガイド冊子	100%振り返りBOOK	資料6

811103

Benesse

7月【記述式】｜高1生

2018年度実施案内書

全国規模の模試で、
高校スタート時点の学力を測定

進研模試
総合学力テスト・7月

[統一実施日]

6/30(土)

[申込締切日] ※1

6/6(水)

[料金（消費税等込）] ※2

ご請求額	2,820円
標準受験料	3,170円

2018年度より料金を改定しています。

＜重要なご連絡＞
2018年度より，受験カードのレイアウトがかわります。
・簡単なアンケートを追加しましたので，裏面も記入いただくようになります。
・受験番号，誕生日をマークしていただくようになりました（2017年度より）。

「進研模試 デジタルサービス」をご活用ください

「進研模試 デジタルサービス」に関しては，「先生機能 操作マニュアル」をご確認ください。

※1　必ず締切日までにお申し込みください。「進研模試 デジタルサービス」の目標設定機能をご利用予定の場合は，早めのお申し込みをおすすめします。
なお，「進研模試 デジタルサービス」は，予備校・塾にはご提供していません。

※2　「進研模試 デジタルサービス」のご利用のための追加料金は必要ありません。

お客様サービスセンター
0120-350455（通話料無料）
先生方からのお申し込みやお問い合わせは，下記ダイヤルにて承ります。
受付時間／月～金 8:00～19:00　土 8:00～17:00
（祝日，年末・年始を除く）
株式会社ベネッセコーポレーション 岡山本社　〒700-8686　岡山市北区南方3-7-17

高1生 7月
総合学力テスト

今回の模試のご紹介

今回の模試の指導上の位置づけ

今回の模試は，高校入学後3か月経過した時点での学力を測定します。学年・クラス・生徒の学力特性を明らかにし，9月以降の教科指導や文理選択指導の判断材料などにご活用いただける全国模試です。また，生徒にとっては初めての全国模試です。夏休みの学習の動機づけにもご利用いただけます。

配点・試験時間

出題教科	配点	試験時間
国語	100点	60分
数学	100点	80分
英語	100点	60分

英語【リスニング】の出題形式／ 選択問題として出題（学校単位での選択）

1 リスニング
2 会話表現
← 1 か 2 の選択問題です。配点は**18点**です。

・ リスニングテストは英語の試験時間の最初に実施してください。所要時間は**約11分**です。
・ 1 リスニング，2 会話表現はどちらか一方の選択のため，実施時に注意してください。
学校やクラス単位で選択をそろえる場合には，学校・クラスに周知いただくようお願いします。
・ 1 リスニング，2 会話表現を両方解答している場合は，得点の高い方で成績集計を行います。

時間割例

時間割は，貴校のご都合にあわせて調整してください。下記の例は，参考としてご覧ください。

受験カード記入	国　語	数　学	英　語
8:30〜9:00	9:00〜10:00	10:10〜11:30	11:40〜12:40
30分	60分	80分	60分

受験カードに簡単なアンケートを追加したため，記入時間を30分間としています。

出題範囲と出題方針

■出題範囲は，履修形態や進度状況についてのアンケート結果に基づいて決定しています。
■試験の公平性の見地から，出題範囲の取り扱いには十分ご配慮ください。
■出題範囲とは，各教科・科目とも出題の対象となる範囲のことをいい，含まれるすべての分野・内容を出題するということではありません。

出題教科	出題科目・コース・範囲	出題方針
国語	［必答問題］ 一 現代文・評論 二 現代文・小説 三 古文 ［選択問題］ 四 漢文 五 古文 六 古典の理解　より1題選択	現代文・古典にかかわらず，読解力・記述力を問う出題をします。また，古文の文法においては，履修進度に合わせ，用言の活用までの範囲から出題します。なお，六 古典の理解とは，単問集合形式で，古典の文章読解の基礎となる古文単語，漢文の訓読のルールなどの理解度を測定する出題です。
数学	［必答問題］ 数と式（I）（集合と命題は除く） ［選択問題］ 2次関数（最大と最小まで）（I），場合の数（順列・組合せ）（A），図形の性質（空間図形は除く）（A）　より1題選択	数と式を中心に出題します。また，基本事項の確認から応用力を必要とするレベルまで幅広い難易で出題しますので，各学力層の到達度を測ることができます。
英語	［選択問題］ 1 リスニング※ 2 会話表現　より1題選択 ［必答問題］ 3 発音・アクセント 4 文法・語法 5 長文読解 6 長文読解 7 表現力	中学校3年間と高校入学後3か月間で学んだことが定着しているかどうかを確認します。発音・アクセント，文法・語法などの基本事項から長文読解や表現力といった応用力が必要なものまで出題します。また，リスニングも選択問題として出題しますので，低学年から音声面・聴きとり能力についての評価が可能です。

※英語1 リスニングの所要時間は，約11分を目安にしています。

●選択問題●　詳細は問題冊子をご参照ください。

教科	選択問題
国語	大問4，5，6 ⇒ 1題を選択
数学	大問4，5，6 ⇒ 1題を選択
英語	大問1，2 ⇒ 1題を選択

実施の流れ

実施前

申込締切日　6/6（水）

・お申し込み後に,お申し込み部数確認のご連絡をFAXでさせていただきます。変更がある場合は,「お客様サービスセンター」までご連絡ください。
・実施直前での追加のご注文は,お届けが間に合わない場合があります。ご注意ください。

問題などのお届け

- 問題冊子
- 進研模試活用シート
- 解答解説
- 実施の手引き
- 進研模試 復習プリント

※「最初に開けてください」シールの貼られた箱に,納品書記載部数から1セット抜き出し封入しています。問題内容を確認される際にご利用ください。

●模試の事前指導について
・模試受験の意義を伝え,意識を高めさせることを目的とした**「進研模試活用シート」を生徒人数分お届けしています**。事前に生徒にお配りいただき,ぜひご活用ください。

実施

統一実施日　6/30（土）

・答案等の発送は,原則,実施日翌日でお願いします。ご都合が悪い場合は,実施後2日以内（実施日翌日が日,祝日の場合は,翌々日または実施日3日以内）となるようお申し込み時にご指定ください。
・実施日を変更される場合は,「お客様サービスセンター」までご連絡ください。

【答案の弊社到着が全国集計に間に合わなかった場合】
試験実施日に欠席し,後日受験したなどの理由で全国集計に間に合わなかった場合でも,通常と変わらない個人成績表をお返しすることができます。その場合,既に集計されている全国集計に該当づけし,後から成績資料をお届けします。
※答案の発送日によっては,上記の対応ができない場合があります。発送日に関するご相談は,「お客様サービスセンター」までご連絡ください。

【答案が弊社に到着したことをFAXにてご連絡します】
生徒様の答案は大切な個人情報であるため,弊社に答案が到着し,答案枚数が確認でき次第FAXにて各校へ答案到着枚数をご連絡します。

実施後

FINE SYSTEMデータリリース

8/ 4（土）「学年・教科分析」
「クラス・個人分析」

「進研模試 デジタルサービス」成績公開予定日

8/ 4（土）成績公開予定日
「進研模試 デジタルサービス」に関しては,「先生機能 操作マニュアル」をご確認ください。

「Benesse マナビジョン」manavision.jp

8/ 4（土）サービス開始

「Benesse High School Online」http://www.bhso.ne.jp

8/ 9（木）今回の集計結果をリリース予定
ご利用には学校ID／ログインコードまたは先生個人ID／パスワードが必要です。今回の模試を実施された学校のみ閲覧いただけます。閲覧開始日は,模試実施日によって異なる場合があります。

インターネットフォルダリリース

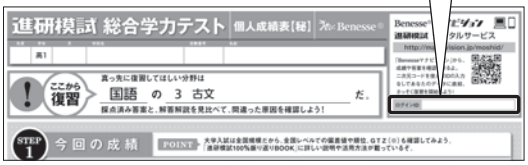
8/ 9（木）教師用成績資料「詳細版」など
個人成績票点データ（統一実施日受験校のみ）,教師用成績資料「ダイジェスト版」も掲載しています。

成績資料発送

8/13（月）教師用成績資料「ダイジェスト版」
データ活用BOOK　個人成績表
100%振り返りBOOK　採点済答案
お届けするデータ・資料の貴校到着は,上記日程より約3日後の予定です。
模試実施日によって,上記日程は異なる場合があります。

ログインID　SASSI0123456XXX
＊このログインIDはダミーです。

「進研模試 デジタルサービス」をご活用いただいている場合は,「進研模試 デジタルサービス」のIDが表示されます。こちらのIDとパスワードをお使いいただくと,WEB上で成績閲覧や復習機能などがご利用いただけます。



▲個人成績表（表面の一部）
※図版はイメージです。

お申し込み方法

申込締切日　6/6（水）

簡単！
WEBでの
お申し込み

Benesse High School Online からご利用いただけます。

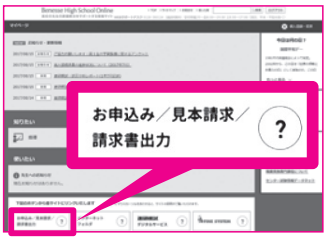
URL:http://www.bhso.ne.jp

※お申し込みには,学校ID／ログインコード または 先生個人ID／パスワードが必要です。
ご不明な場合は,WEBサポートデスク 0120-350124（通話料無料）までお問い合わせください。

★前年度や前回のお申し込み履歴がいつでも確認できます！
★年間分をまとめてお申し込みいただけます！

※Benesse High School Online
メンテナンス期間は入力できません。

Benesse High School Online上の
「お申込み／見本請求／請求書出力」をクリック



お申し込みいただく教材をクリック

必要情報を入力ください

※図版はすべてイメージです。実際のものとは異なる可能性があります。

お電話での
お申し込み

●「お客様サービスセンター」へお電話ください。

0120-350455（通話料無料）

受付時間／月～金　8:00～19:00
土　8:00～17:00
（祝日,年末・年始を除く）

ご送金方法

●同封の弊社指定の郵便振替用紙をご利用のうえ,お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください（手数料弊社負担）。郵便振替用紙をご記入の際には,今回お申し込みになる模試の「学年」・「実施月」・「形式（記述式）」もお忘れないようご記入ください。

●郵便局がお渡しする振替払込請求書兼受領証は貴校の控えとなりますので,大切に保管してください。

●2017年3月より,請求書等が上記WEBよりダウンロードできるようになりました。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト　1 年 7 月
対象教科：国語
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、文章に即した適切な漢字を書いたり読んだり、文章の内容を的確に読み取ったり、論の展開・構成を的確にとらえ、筆者の主張やその主張の根拠を捉えたり、筆者の主張や文章全体の主旨を基に、情報を整理したり、考えをまとめたりすることができる。	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】短答式	言語文化と国語の特質に関する事項〔伝統的な	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ウ　漢字に関する事項 （ア）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。
	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式	C　読むこと	中学校学習指導要領　国語〔第３学年〕 C読むこと ア　文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ　文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式	C　読むこと B　書くこと	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">文学的な文章について、文章に即して語句の意味を正しく捉えたり、描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ったり、描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取り、文章の主題を把握したり、表現の意図や効果を理解したりすることができる。</td><td>【設問数】3問（程度）
【出題形式】選択式</td><td>C　読むこと
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</td><td>中学校学習指導要領　国語〔第３学年〕
C読むこと
ア　文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。
イ　文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

国語総合
C　読むこと
ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕
イ　言葉の特徴やきまりに関する事項
（ア）国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。
（イ）文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</td></tr>
<tr><td>【設問数】2問（程度）
【出題形式】記述式</td><td>C　B
読むこと　書くこと</td><td>国語総合
B　書くこと
イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。
ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。

C　読むこと
ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</td></tr>
</table>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章について、必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解し、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ったり、文章の内容を要約することができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】短答式	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	C　読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2問（程度） 【出題形式】記述式	C　B　書くこと C　読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解し、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ったり、文章の内容を要約したりすることができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】短答式	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	C　読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2問（程度） 【出題形式】記述式	C　B　書くこと 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 1 年 11 月−1 年 1 月
対象教科：国語
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、文章に即した適切な漢字を書いたり読んだり、文章の内容を的確に読み取ったり、論の展開・構成を的確にとらえ、筆者の主張やその主張の根拠を捉えたり、筆者の主張や文章全体の主旨を基に、情報を整理したり、考えをまとめたりすることができる。	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】短答式	言語文化と国語の特質に関する事項〔伝統的な	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ウ　漢字に関する事項 （ア）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。
	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式	C　読むこと	国語総合 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式	C　読むこと B　書くこと	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">文学的な文章について、文章に即して語句の意味を正しく捉えたり、描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ったり、描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取り、文章の主題を把握したり、表現の意図や効果を理解したりすることができる。</td><td>【設問数】3 問（程度）
【出題形式】選択式</td><td>C　読むこと
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</td><td>国語総合
C　読むこと
ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕
イ　言葉の特徴やきまりに関する事項
（ア）国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。
（イ）文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</td></tr>
<tr><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】記述式</td><td>C　B
書くこと
読むこと</td><td>国語総合
B　書くこと
イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。
ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。

C　読むこと
ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</td></tr>
</table>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解し、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ったり、文章の内容を要約することができる。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】短答式 サンプル問題 1	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式 サンプル問題 1	C　読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式 サンプル問題 1	C　B　書くこと C　読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解し、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ったり、文章の内容を要約したりすることができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】短答式 サンプル問題2	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式 サンプル問題2	C　読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】2問（程度） 【出題形式】記述式 サンプル問題2	C　B　書くこと C　読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 2 年 7 月-2 年 1 月
対象教科：国語
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、文章に即した適切な漢字を書いたり読んだり、文章の内容を的確に読み取ったり、論の展開・構成を的確にとらえ、筆者の主張やその主張の根拠を捉えたり、筆者の主張や文章全体の主旨を基に、情報を整理したり、考えをまとめたりすることができる。	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】短答式	言語文化と国語の特質に関する事項〔伝統的な	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ウ　漢字に関する事項 （ア）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。
	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式	C　読むこと	国語総合 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式	C　読むこと B　書くこと	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">文学的な文章について、文章に即して語句の意味を正しく捉えたり、描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ったり、描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取り、文章の主題を把握したり、表現の意図や効果を理解したりすることができる。</td><td>【設問数】3 問（程度）
【出題形式】選択式</td><td>C　読むこと
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</td><td>国語総合
C　読むこと
ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕
イ　言葉の特徴やきまりに関する事項
（ア）国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。
（イ）文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</td></tr>
<tr><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】記述式</td><td>C　B
書くこと
読むこと</td><td>国語総合
B　書くこと
イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。
ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。

C　読むこと
ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">古典の文章（古文）について、必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解し、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ったり、文章の内容を要約することができる。</td><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】短答式</td><td>古典A
古典B
ア
イ</td><td>古典A
イ　古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。

古典B
ア　古典に用いられている語句の意味，用法及び文の構造を理解すること。</td></tr>
<tr><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】選択式</td><td>古典A
古典B
ア・イ・ウ・エ</td><td>古典A
イ　古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。

古典B
ア 古典に用いられている語句の意味，用法及び文の構造を理解すること。
イ 古典を読んで，内容を構成や展開に即して的確にとらえること。
ウ 古典を読んで，人間，社会，自然などに対する思想や感情を的確にとらえ，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにすること。
エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい，作品の価値について考察すること。</td></tr>
<tr><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】記述式</td><td>古典A
古典B
ア・イ・ウ・エ</td><td>古典A
イ　古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。

古典B
ア　古典に用いられている語句の意味，用法及び文の構造を理解すること。
イ 古典を読んで，内容を構成や展開に即して的確にとらえること。
ウ 古典を読んで，人間，社会，自然などに対する思想や感情を的確にとらえ，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにすること。
エ　古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい，作品の価値について考察すること。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">古典の文章（漢文）について、必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解し、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ったり、文章の内容を要約したりすることができる。</td><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】短答式</td><td>古典A　古典B
イ　ア</td><td>古典A
イ　古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。

古典B
ア　古典に用いられている語句の意味，用法及び文の構造を理解すること。</td></tr>
<tr><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】選択式</td><td>古典A　古典B
イ　ア・イ・ウ・エ</td><td>古典A
イ　古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。

古典B
ア　古典に用いられている語句の意味，用法及び文の構造を理解すること。
イ 古典を読んで，内容を構成や展開に即して的確にとらえること。
ウ 古典を読んで，人間，社会，自然などに対する思想や感情を的確にとらえ，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにすること。
エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい，作品の価値について考察すること。</td></tr>
<tr><td>【設問数】2 問（程度）
【出題形式】記述式</td><td>古典A　古典B
イ　ア・イ・ウ・エ</td><td>古典A
イ　古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。

古典B
ア　古典に用いられている語句の意味，用法及び文の構造を理解すること。
イ 古典を読んで，内容を構成や展開に即して的確にとらえること。
ウ 古典を読んで，人間，社会，自然などに対する思想や感情を的確にとらえ，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにすること。
エ　古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい，作品の価値について考察すること。</td></tr>
</table>

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト　１年７月
（複数の選択大問があるため，受検者の多い受検パターンを記載　※選択科目の受検なし）
対象教科：数学
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
数と式で学習する定理・公式や計算法則を用いて，因数分解や展開，無理数の演算をしたり，方程式・不等式の解を求めたりすることができる。	【設問数】５問（程度） 【出題形式】短答式	A 数と式 （1）数と式	**中学校指導要領　数学〔第３学年〕** ２　A (1) イ　数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 ２　A (2) イ　簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$ ２　A (3) イ　因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			数学Ⅰ ２　(1) ア 数と集合 (ｱ) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 式 (ｱ) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め，式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (ｲ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
分母の有理化や無理数の評価を行い，与えられた無理数を含む式の値を求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（1）数と式	**数学Ⅰ** 2　(1) ア 数と集合 (ｱ) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 式 (ｱ) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め，式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。
日常的な事象において，変数の値やその範囲を求めて，課題解決をすることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	A 数と式 （1）数と式	**中学校指導要領　数学〔第1学年〕** 2　A　(3) ウ　簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。 **数学Ⅰ** 2　(1) イ 式 (ｲ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた二次関数について，平方完成を行い定義域とグラフの軸の位置関係を考察し，二次関数の最小値や最大値を求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（3）二次関数	**数学Ⅰ** 2　(3) ア　二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また，二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ　二次関数の値の変化 (ｱ) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について，グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト　1 年 11 月−1 年 1 月　（複数の選択大問があるため，受検者の多い受検パターンを記載）
対象教科：数学
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
数と式及び二次関数で学習する定理・公式や計算法則を用いて，因数分解や展開，与えられた条件の否定をしたり，条件を満たす二次関数を求めたりすることができる。	【設問数】５問（程度） 【出題形式】短答式	（1）数と式 （3）二次関数	**数学Ⅰ** ２　(1) ア 数と集合 (ｱ) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (ｲ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用すること。 イ 式 (ｱ) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め，式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (ｲ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。 ２　(3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また，二次関数のグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
無理数の四則演算行い，数直線を用いて条件を満たす集合の要素を求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（1）数と式	**数学Ⅰ** 2　(1) ア 数と集合 (ｱ) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (ｲ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用すること。 イ 式 (ｱ) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め，式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (ｲ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた二次関数について，平方完成をして適切に場合分けを行い，値の変化の特徴を数学的に表現することができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式 サンプル問題1 (1)(2)(3)	（3）二次関数	**数学Ⅰ** 2　(3) ア　二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また，二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ　二次関数の値の変化 (ｱ) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について，グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。
図形と計量で学習する定理や公式，図形的条件を用いて，2円の中心間の距離を求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式 サンプル問題2 (1)(2)(3)	（2）図形と計量	**数学Ⅰ** 2　(2) ア　三角比 (ｱ) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (ｲ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。 (ｳ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し，それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。 イ　図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
事象を考察する際に順列と組合せについて理解し，事象をもれなく数え上げることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（1）場合の数と確率	**数学A** 2　(1) ア　場合の数 (ｱ) 数え上げの原則 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則について理解すること。 (ｲ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し，それらの総数を求めること。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト　2 年 7 月-2 年 1 月　（複数の選択大問があるため，受検者の多い受検パターンを記載）
対象教科：数学
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
数学Ⅰおよび場合の数と確率で学習する定理・公式や計算法則を用いて，二次関数の決定や箱ひげ図の読み取りをしたり，条件を満たす場合の数を数え上げたりすることができる。	【設問数】9問（程度） 【出題形式】短答式	（1）数と式 （3）二次関数 （4）データの分析 （1）場合の数と確率	**数学Ⅰ** 2　(1) ア 数と集合 (ｱ) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 式 (ｱ) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め，式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (ｲ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めたり一次不 等式を事象の考察に活用したりすること。 2　(3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また，二次関数のグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			イ　二次関数の値の変化 (ｲ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに，数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。 ２　(4) ア　データの散らばり 四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。 **数学 A** ２　(1) ア 場合の数 (ｲ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し，それらの総数を求めること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
図形と計量で学習する定理や公式，図形的な条件を用いて，三角形の辺の長さや，角の正弦の値を求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（2）図形と計量	**数学Ⅰ** 2　(2) ア　三角比 (ｱ) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (ｲ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。 (ｳ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し，それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
いろいろな式で学習する定理や公式を用いて，整式に含まれる文字定数の関係式や，高次方程式の虚数解とその関係を求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（1）いろいろな式	**数学Ⅱ** 2 (1) ア 式と証明 (ｲ) 等式と不等式の証明 等式や不等式が成り立つことを，それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。 イ 高次方程式 (ｱ) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすること。また，二次方 程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。 (ｲ) 因数定理と高次方程式 定理について理解し，簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
円の方程式や直線の方程式の性質を理解し，与えられた条件から円の方程式や座標平面上の点の座標，面積の最大値を求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（2）図形と方程式	**数学Ⅱ** 2　(2) ア 直線と円 (ｱ) 点と直線 座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また，座標平面上の直線を方程式で表し，それを二直線の位置関係などの考察に 活用すること。 (ｲ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し，それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。
与えられた関数を正接の二次関数として捉え，その最小値やそのときの角の大きさを求めることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】記述式	（4）三角関数	**数学Ⅱ** 2　(4) ア　角の拡張 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 イ　三角関数 (ｲ) 三角関数の基本的な性質 三角関数について，相互関係などの基本的な性質を理解すること。 ウ　三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し，それを用いて2倍角の公式を導くこと。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト　1 年 7 月-1 年 1 月
対象教科:英語
測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話やまとまりのある英文を聞いて、その場面や状況、流れなどを推測することができたり、得た情報を簡潔に英語でまとめたりすることができる。	【設問数】8 問（程度） 【出題形式】 選択式、記述式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲　3 問 コミュニケーション英語Ⅰ　5 問 【CEFR】A1~A2 程度	聞くこと・書くこと	中学校学習指導要領　外国語 2 内容 (1) ア　聞くこと （イ）自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて，情報を正確に聞き取ること。 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア　事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 エ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた英文の内容に合わせて、文法や語彙・語法を正しく理解して使用することができる。	【設問数】10 問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲　3 問 コミュニケーション英語Ⅰ　7 問 【CEFR】A1~A2 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領　外国語 2 内容 （1）ウ　読むこと （ア）文字や符号を識別し，正しく読むこと。 （イ）書かれた内容を考えながら黙読したり，その内容が表現されるように音読すること。 エ　書くこと （ア）文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 （イ）語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文や物語文などを読んで，その内容、テーマや概要をとらえることができたり、得た情報を簡潔に英語や日本語でまとめたりすることができる。	【設問数】12 問（程度） 【出題形式】 選択式、短答式、記述式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ　12 問 【CEFR】A1~A2 程度	読むこと・書くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。

（様式４）

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td>・正しい文法・語彙・語法知識から，与えられた英文の意味をとり，再構築することができる。</td><td>【設問数】3 問（程度）
【出題形式】
選択式（整序）
【出題数の割合】
コミュニケーション英語Ⅰ　3 問
【CEFR】A1~A2 程度</td><td rowspan="2">読むこと・書くこと</td><td rowspan="2">コミュニケーション英語Ⅰ
2 内容
(1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。
(2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</td></tr>
<tr><td>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</td><td>【設問数】3 問（程度）
【出題形式】
記述式
【出題数の割合】
コミュニケーション英語Ⅰ　3 問
【CEFR】A1~A2 程度</td></tr>
</table>

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」をすることができる。	【設問数】４問～７問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲　３問～５問（程度） コミュニケーション英語Ⅰ　１問～２問（程度） 【CEFR】A１～２程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領　外国語 2 内容 (1) イ　話すこと （ア） 強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく発音すること。 （イ） 自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。 （ウ） 聞いたり読んだりしたことなどについて，問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。 ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア　リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト　2 年 7 月−2 年 1 月
対象教科:英語
測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話や説明文を聞いて、その場面や状況、会話の流れや内容などを聞き取ることができる。	【設問数】6 問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ　6 問 【CEFR】A1~A2 程度	聞くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア　事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。
・ある程度まとまりのある文章を聞いて理解し，得た情報を簡潔に英語でまとめることができる。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】 選択式，記述式 ※リスニング サンプル問題１ 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ　2 問 【CEFR】A1~A2 程度	聞くこと・書くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア　事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 エ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた英文の内容に合わせて、文法や語彙語法を正しく理解して使用することができる。	【設問数】10 問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ　10 問 【CEFR】A1~A2 程度	読むこと・書くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

（様式４）

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td>・まとまりのある説明文や物語文などを読んで，テーマ，文脈，内容をとらえることができる。</td><td>【設問数】7 問（程度）
【出題形式】
選択式，記述式

サンプル問題 2（問 2～問 6）
【出題数の割合】
コミュニケーション英語Ⅰ 7 問
【CEFR】A1~A2 程度</td><td rowspan="2">読むこと・書くこと</td><td rowspan="2">コミュニケーション英語Ⅰ
2 内容
(1) イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。
エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。</td></tr>
<tr><td>・ある程度まとまりのある文章を読んで得た情報を簡潔に英語や日本語でまとめることができる。</td><td>【設問数】7 問（程度）
【出題形式】
選択式，記述式

サンプル問題 2（問 1･問 7）
【出題数の割合】
コミュニケーション英語Ⅰ 7 問
【CEFR】A1~A2 程度</td></tr>
</table>

（様式４）

<table>
<tr><th rowspan="2">測定しようとする資質・能力の具体的内容</th><th rowspan="2">設問数、出題形式等</th><th colspan="2">（参考）学習指導要領の関連項目</th></tr>
<tr><th>領域又は事項</th><th>科目名及び内容</th></tr>
<tr><td>・正しい文法・語彙・語法知識から，与えられた英文の意味をとり，再構築することができる。</td><td>【設問数】3 問（程度）
【出題形式】
選択式（整序）
【出題数の割合】
コミュニケーション英語Ⅰ 3 問
【CEFR】A1~A2 程度</td><td rowspan="2">読むこと・書くこと</td><td rowspan="2">コミュニケーション英語Ⅰ
2 内容
(1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。
(2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

コミュニケーション英語Ⅱ
2 内容
(1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。
(2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</td></tr>
<tr><td>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</td><td>【設問数】3 問（程度）
【出題形式】
記述式
サンプル問題 3
【出題数の割合】
コミュニケーション英語Ⅰ 2 問
コミュニケーション英語Ⅱ 1 問
【CEFR】A1~A2 程度</td></tr>
</table>

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」をすることができる。	【設問数】４問～７問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲　３問～５問（程度） コミュニケーション英語Ⅰ　１問～２問（程度） 【CEFR】A１～２程度 サンプル問題 4 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領　外国語 2 内容 (1) イ　話すこと （ア）　強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく発音すること。 （イ）　自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。 （ウ）　聞いたり読んだりしたことなどについて，問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。 ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア　リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること

（様式５）

サンプル問題について

事業者名： 株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名： ベネッセ総合学力テスト 1 年 11 月−1 年 1 月
対象教科： 国語
測定内容の区分： 標準タイプ
サンプル問題番号： 1

出題科目	国語総合
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情および展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。
主として問う能力	
出題形式	

小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等
問一	○	
問二	○	
問三		○
問四		○
問五		○
問六		○

小問番号	選択式	短答式	記述式
問一	○		
問二	○		
問三			○
問四			○
問五			○
問六	○		

サンプル問題

三　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（配点　三〇）

ある武家、(注1)両国を朝通りしに、色衰へし女、欄干の辺りをあちこちと徘徊せるさま、身を投げ、入水を心がくるやと疑はしく、立ち寄りてそのさまを尋ねX〔し〕に、(注2)綿摘みを業とせる者にて、「預かりの綿を盗まれ、我が身の愁ひは申すに及ばず、親方に(注3)呉服所への申し訳なき筋なれば、入水せんと覚悟極めし」由語りぬ。「いかほどの価あれば償ひなりぬるや」と尋ねしに、「我らの身の上にて急に調ひ難Y〔し〕。(注4)二分ほどあれば償ひもできぬべし」と言ひしゆゑ、「それはわづかの事なり。我与へん」とて、懐中より金三分取り出だし、かの女子に与へしに、百拝してよろこび、名、所など聞きけれど、「我は陰徳に施すなり。(ア)名、所を言ふに及ばず」とて、立ち別れしが、年を隔てて川崎とか又は亀戸辺りとか、その所は聞かざりしが、所用ありて(注5)渡し場へかかりしに、かの女にⓐふと出会ひけるに、女はよく覚えて、過ぎし両国橋の事を語り、「ひらに我がもとへ立ち寄り給へ」と言ひしかども、(イ)「道をも急げば」と断りしが、切に引き留めて、くだんの船宿へ伴ひ、「誠に入水一途に覚悟せしを、御身のお陰にて事なく綿代をも償ひ、不思議に助命せしは誠に大恩ゆゑ、平日御様子に似候ふ人もやと心がけ尋ねしなり。我が身は宮仕へにて綿摘みし事、過ぎし盗難に思ひ、暇取りてこの船宿へ(注6)片付きけるに、不思議にも今日お目にかかるも奇縁とやいふべき」とて、蕎麦・酒など出だし、家内うち寄りて饗応せしに、かの渡し場にて何か物騒がしき様子、その訳を尋ねしに、「にはかに疾風出でて渡船くつがへり、ⓑあるいは溺死、不思議に命助かりしも怪我などして、大勢寄り集まりて介抱せる」由。これを聞きて、「誠にこの船宿へ、かの女の逢ひて引き留めずば、我も水中のうろくづとならん」。(注7)天道その善に与し、(ウ)陰徳陽報の先言空しからざる事と、人の語りぬるなり。

（『耳嚢』による）

（注）1 両国――江戸の地名。ここでは、そこにかかる両国橋のこと。
2 綿摘み――真綿を塗り桶にかぶせて薄くのばす作業。
3 呉服所――江戸時代、幕府や大名家などに出入りして衣服類などを調達した商店。
4 三分――「分」は江戸時代の貨幣単位。十六朱で一分、四分で一両となる。
5 渡し場――川などを渡る渡し船の乗り場。渡船場。
6 片付きける――ここでは、嫁いで来たことを意味する。
7 うろくづ――魚のうろこ。ここでは、「薄屑」の意味。

問一 二重傍線部ⓐ・ⓑの本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の**1**～**4**のうちからそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

ⓐ ふと
1 たやすく
2 すばやく
3 思ったとおりに
4 思いがけなく

ⓑ あるいは
1 ある者は
2 運の悪い者は
3 たまたま
4 もしかしたら

問二 波線部X・Yの文法的説明として最も適当なものを、次の**1**～**6**のうちからそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

1 サ行四段活用動詞の一部　**2** サ行変格活用動詞　**3** ク活用形容詞の一部
4 シク活用形容詞の一部　**5** 過去の助動詞　**6** 使役の助動詞

問三 傍線部(ア)とあるが、武家が自分の名前も住所も教えなかったのはなぜか。二十字以内で説明せよ。

【下書き用】

10

20

問四　傍線部(イ)を、誰の動作かわかるようにして現代語訳せよ。

問五　傍線部(ウ)とあるが、この話における「陽報」とは誰がどうなったことか。三十五字以内で説明せよ。

【下書き用】

問六　本文の内容に合致するものを、次の**1**～**4**のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1　綿摘みの女は預かっていた綿を盗まれ、親方に責められて仕事を追われていた。

2　女は武家から受けた恩を忘れることなく、常に武家に似た人がいないかと探していた。

3　女は武家と再会し、借りていた金三分を返すために、武家を自分の家に招いた。

4　武家は再会した女を妻とし、船宿の主人となって女と一緒に暮らすことにした。

解答例	問一　ⓐ　4　　ⓑ　1 問二　X　5　Y　3 問三　武家は人知れず善行をしようと思ったから。(20字) 解答のポイント (i) 武家が「陰徳を行おうとしている」ことが書けていること。 (ii) 「陰徳」は「人知れず善行をする」ことであると書けていること。 問四　武家は「道を急ぐので」と断った 解答のポイント (i) 動作主の「武家」を補えていること。 (ii) 「急げば」を「急ぐので」と訳出できていること。 (iii) 「断りし」を「断った」と過去の意味で訳出できていること。 問五　武家が、女に引き留められて船に乗らなかったおかげで助かったこと。(32字) 解答のポイント (i) 「武家が」「助かったこと」という主述関係が書けていること。 (ii) 助かった原因として「女に引き留められて船に乗らなかった」という内容が書けていること。 問六　2
(参考)学習指導要領の関連項目	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

（様式５）

サンプル問題について

事業者名： 株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名： ベネッセ総合学力テスト 1 年 11 月-1 年 1 月
対象教科： 国語
測定内容の区分： 標準タイプ
サンプル問題番号： 2

出題科目	国語総合
出題のポイント	古典の文章（漢文）について、描かれている人物、情景、心情および展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。
主として問う能力	
出題形式	

小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等
問一	○	
問二		○
問三	○	
問四		○
問五		○

小問番号	選択式	短答式	記述式
問一		○	
問二	○		
問三		○	
問四			○
問五	○		

サンプル問題

四　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（配点　二〇）

上(注1)嘗テ輦(注2)至リ郎署(注3)ニ、(ア)見ル一老翁ヲ。鬚鬢(注4)皓白、衣服不レ整ハ。上問ヒテ曰ハク、「公(注5)何レノ時ニ為レルヤ郎ト、何ゾ其レ老イタルヤト也。」ⓐ対ヘテ曰ハク、「臣(注6)姓ハ顔、名ハ駟、江都(注7)ノ人也。以テ文帝ノ時ヲ為ルト郎ト。」上問ヒテ曰ハク、「(イ)何ゾ其レ老イテ而不ル遇セラレ也。」駟曰ハク、「文帝ハ好ム文ヲ而臣ハ好ム武ヲ。景帝ハ好ム老イタルヲ而臣ハ尚ホ少シ。陛下ハ好ム少キヲ而臣ハⓑ已ニ老イタリ。(ウ)是(注8)ヲ以テ三世不レ遇セラレ。故ニ老イタリ於郎署ニ。」上ハ感ジ其ノ言ニ、擢アゲテ拝ス会稽(注9)都尉(注10)ニ。

（『漢武故事』による）

（注）
1　上――現在の皇帝。ここでは前漢の武帝のこと。
2　輦――乗り物に乗る。
3　郎署――下級官吏の働く役所。
4　鬚鬢皓白――ひげや髪が真っ白な様子。
5　公――年長者への呼びかけ。
6　臣――君主の前で自らをへりくだって言う言い方。
7　江都――地名。

8　是以――こういうわけで。
9　会稽――地名。
10　都尉――軍事をつかさどる高級将校。

問一　二重傍線部ⓐ・ⓑの読みを、それぞれ**ひらがな**で答えよ。

問二　傍線部(ア)とあるが、「老翁」を見た「上」は、どのような気持ちを抱いたか。その説明として最も適当なものを、次の**1**～**4**のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1　翁が、低い役職のまま年老いてしまった理由を知りたいという気持ち。
2　長年、自分に尽くしてくれている翁の働きに対して、報いてやりたいという気持ち。
3　年齢より老けて見える翁の今までの労苦を想像して、同情を禁じ得ない気持ち。
4　年老いているうえに服装もだらしない翁を早く罷免(ひめん)して、組織の若返りを図りたい気持ち。

問三　傍線部(イ)を書き下し文にせよ。

問四　傍線部(ウ)とはどういうことか。四十字以内で説明せよ。

【下書き用】

40　20

問五　本文中で「上」が行ったことの説明として最も適当なものを、次の**1**～**4**のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1　若手を登用したい皇帝の方針に反する顔駟の諫言（かんげん）を採用して、出世させることにした。

2　顔駟が非凡な才能の持ち主であることを見抜いて、会稽の都尉に抜擢（ばってき）することにした。

3　不遇な人生について語る顔駟の言葉に心を打たれて、新しい役職を与えることにした。

4　信念を貫いて権力に迎合しない顔駟の生き方に感動を禁じ得ず、厚遇することにした。

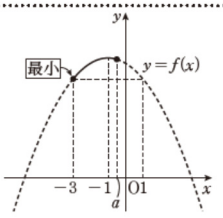
解答例	**問一**　ⓐ　こた（ヘテ）　ⓑ　すで（ニ） **問二**　**1** **問三**　何ぞ其れ老いて遇せられざるや（と。） **問四**　顔駟は、今まで仕えた三代の皇帝の好みに合わず、重く用いられなかったということ。（39字） **解答のポイント** (i)　顔駟が三代の皇帝に仕えたということが書けていること。 (ii)　顔駟が、それぞれの（皇帝の）「好みに合わなかった」ことが書けていること。 (iii)　顔駟が、「重く用いられなかった」ことが書けていること。 **問五**　**3**
(参考)学習指導要領の関連項目	国語総合 B　書くこと イ　論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ　対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C　読むこと ア　文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ　文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ　文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア　伝統的な言語文化に関する事項 （ア）言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ）文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

（様式５）

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト　1 年 11 月-1 年 1 月
対象教科：数学
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：1

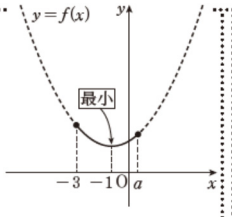
<table>
<tr><td>出題科目</td><td>数学Ⅰ</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>文字定数を含む二次関数について，問題の条件に応じて適切に場合分けを行い，最大値・最小値を求めることができるかを測定する。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>(2)</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>(1)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
3　a，b は定数で，$a>-1$ かつ $a\neq 0$ とする。2 次関数 $f(x)=ax^2+2ax+b$ があり，$-3\leqq x\leqq a$ における $f(x)$ の最大値を M，最小値を m とする。
(1)　$y=f(x)$ のグラフの頂点の座標を a，b を用いて表せ。
(2)　$y=f(x)$ のグラフが点 $(2,\ 7)$ を通り，$m=5$ となるような a，b の値を求めよ。
(3)　$M=2m$ となるとき，b を a を用いて表せ。　(配点　20)
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>
(1)
$f(x)=ax^2+2ax+b$
$=a(x+1)^2-a+b$ ……2 点
であるから，$y=f(x)$ のグラフの頂点の座標は
$(-1,\ -a+b)$ ……(答)2 点

(2)
$y=f(x)$ のグラフが点 $(2,\ 7)$ を通るから
$f(2)=7$ より
$8a+b=7$
$b=-8a+7$ ……1 点
よって
$f(x)=ax^2+2ax-8a+7$
$=a(x+1)^2-9a+7$
(i)　$-1<a<0$ のとき ……
$y=f(x)$ のグラフは上に凸の放物線で，定義域 $-3\leqq x\leqq a$ における $y=f(x)$ のグラフは右の図のようになる。
よって，この範囲で $f(x)$ は $x=-3$ で最小となり
$m=f(-3)$
$=a\cdot(-3+1)^2-9a+7$
$=-5a+7$
$m=5$ より
$-5a+7=5$
よって
$a=\frac{2}{5}$ ……2 点
これは，場合分けの条件 $-1<a<0$ を満たさない。 ……1 点


</td></tr>
</table>

(ii)　$0<a$ のとき ……

$y=f(x)$ のグラフは下に凸の放物線で，定義域 $-3 \leqq x \leqq a$ における $y=f(x)$ のグラフは右の図のようになる。



よって，この範囲で $f(x)$ は $x=-1$ で最小となり

$m=f(-1)$

$=a\cdot(-1+1)^2-9a+7$

$=-9a+7$

$m=5$ より

$-9a+7=5$

よって

$a=\dfrac{2}{9}$ ……(答)2 点

これは，場合分けの条件 $0<a$ を満たす。

このとき，$b=-8a+7$ より

$b=\dfrac{47}{9}$ ……(答)1 点

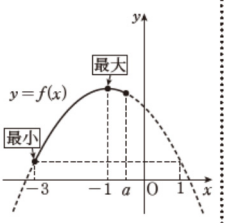
(i)，(ii)より，求める a，b の値は

$a=\dfrac{2}{9}$，$b=\dfrac{47}{9}$

(3)

(i)　$-1<a<0$ のとき ……

定義域 $-3 \leqq x \leqq a$ における $y=f(x)$ のグラフは右の図のようになる。



よって，この範囲で $f(x)$ は $x=-1$ で最大となり

$M=f(-1)$

$=-a+b$

また

$m=f(-3)=3a+b$

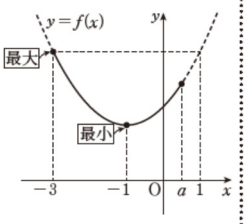
よって，$M=2m$ より

$-a+b=2(3a+b)$ ……2 点

$b=-7a$ ……(答)1 点

(ii)　$0<a<1$ のとき ……

定義域 $-3 \leqq x \leqq a$ における $y=f(x)$ のグラフは右の図のようになる。



よって，この範囲で $f(x)$ は $x=-3$ で最大となり

$M=f(-3)$

$=3a+b$

また

$m=f(-1)=-a+b$

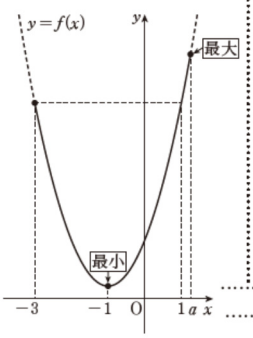
よって，$M=2m$ より

$3a+b=2(-a+b)$ ……2 点

$b=5a$ ……(答)1 点

(iii)　$1 \leqq a$ のとき ……

定義域 $-3 \leqq x \leqq a$ における $y=f(x)$ のグラフは右の図のようになる。



よって，この範囲で $f(x)$ は $x=a$ で最大となり

$M=f(a)$

$=a\cdot a^2+2a\cdot a+b$

$=a^3+2a^2+b$

また

$m=f(-1)=-a+b$

よって，$M=2m$ より

$a^3+2a^2+b=2(-a+b)$ ……2 点

$b=a^3+2a^2+2a$ ……(答)1 点

(i)，(ii)，(iii)より

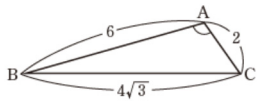
$\begin{cases} -1<a<0 \text{ のとき} & b=-7a \\ 0<a<1 \text{ のとき} & b=5a \\ 1 \leqq a \text{ のとき} & b=a^3+2a^2+2a \end{cases}$

（参考）学習指導要領の関連項目	**数学Ⅰ** （３）二次関数 ア　二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また，二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ　二次関数の値の変化 （ア）二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について，グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。

（様式５）

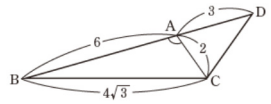
サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 1 年 11 月−1 年 1 月
対象教科：数学
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：2

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>数学Ⅰ</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>余弦定理など図形と計量で学習する定理や公式を利用して，図形的な条件の考察から図形の角度の大きさや線分の長さの値を求める力を測定する。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>(3)</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>(1)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
5　AB＝6，BC＝$4\sqrt{3}$，CA＝2 である △ABC がある。
(1)　cos$A$ の値を求めよ。
(2)　sin$A$ の値を求めよ。また，△ABC の外接円の半径を求めよ。
(3)　辺 AB の A の側の延長線上に点 D を AD＝3 となるようにとるとき，線分 CD の長さを求めよ。さらに，△ABC，△ACD の外接円の中心をそれぞれ O，O′ とする。このとき，線分 OO′ の長さを求めよ。　(配点　20)
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>
(1)


△ABC において，余弦定理により
$\cos A=\dfrac{CA^2+AB^2-BC^2}{2CA\cdot AB}$ ……3 点
$=\dfrac{2^2+6^2-(4\sqrt{3})^2}{2\cdot 2\cdot 6}=-\dfrac{1}{3}$ ……(答)2 点
(2)
$\sin^2 A+\cos^2 A=1$
(1)より，$\cos A=-\dfrac{1}{3}$ であるから
$\sin^2 A=1-\cos^2 A=\dfrac{8}{9}$
$0°<A<180°$ より，$\sin A>0$
よって
$\sin A=\sqrt{\dfrac{8}{9}}=\dfrac{2\sqrt{2}}{3}$ ……(答)2 点
△ABC の外接円の半径を R とすると，△ABC において正弦定理により
$2R=\dfrac{BC}{\sin A}$
$=4\sqrt{3}\div\dfrac{2\sqrt{2}}{3}=3\sqrt{6}$ ……2 点
よって
$R=\dfrac{3\sqrt{6}}{2}$ ……(答)3 点
</td></tr>
</table>

(3)



点 D は辺 AB の A の側の延長線上にあるから

$\cos\angle CAD = \cos(180^\circ - \angle BAC)$

$= -\cos\angle BAC$

$= \frac{1}{3}$ …… 1 点

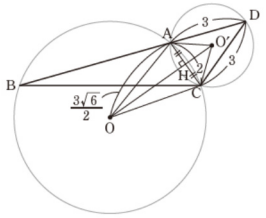
△ACD において，余弦定理により

$CD^2 = AC^2 + AD^2 - 2AC \cdot AD\cos\angle CAD$

$= 2^2 + 3^2 - 2 \cdot 2 \cdot 3 \cdot \frac{1}{3} = 9$

$CD > 0$ より

$CD = 3$ ……(答)2 点



線分 OO′ と AC の交点を H とする。

2 つの円の共通の弦 AC は 2 つの円の中心を結ぶ線分 OO′ によって垂直に 2 等分されるから

$OO' \perp AC$，$AH = CH$

△AOH において，$AO = R = \frac{3\sqrt{6}}{2}$，$AH = 1$，$\angle AHO = 90^\circ$ であるから，三平方の定理により

$OH^2 = AO^2 - AH^2 = \left(\frac{3\sqrt{6}}{2}\right)^2 - 1^2 = \frac{25}{2}$

$OH > 0$ より

$OH = \frac{5\sqrt{2}}{2}$ …… 1 点

△ACD の外接円の半径を R' とすると，正弦定理により

$2R' = \frac{CD}{\sin(180^\circ - \angle BAC)} = \frac{CD}{\sin\angle BAC}$

$= 3 \div \frac{2\sqrt{2}}{3} = \frac{9\sqrt{2}}{4}$

よって

$R' = \frac{9\sqrt{2}}{8}$ …… 1 点

△AO′H において，$AO' = R' = \frac{9\sqrt{2}}{8}$，$AH = 1$，$\angle AHO' = 90^\circ$ であるから，三平方の定理により

$O'H^2 = AO'^2 - AH^2 = \left(\frac{9\sqrt{2}}{8}\right)^2 - 1^2 = \frac{49}{32}$

$O'H > 0$ より

$O'H = \frac{7\sqrt{2}}{8}$ …… 1 点

したがって

$OO' = OH + O'H = \frac{5\sqrt{2}}{2} + \frac{7\sqrt{2}}{8} = \frac{27\sqrt{2}}{8}$ ……(答)2 点

(参考)学習指導要領の関連項目

数学Ⅰ

（2）図形と計量

ア 三角比

(ア) 鋭角の三角比

鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。

(イ) 鈍角の三角比

三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。

(ウ) 正弦定理・余弦定理

正弦定理や余弦定理について理解し，それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。

イ 図形の計量

三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。

（様式５）

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト　2 年 7 月−2 年 1 月
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：1

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>コミュニケーション英語 I</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>説明文を聞いて、内容を聞き取ることができるかを測定する。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>No. 2</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>No. 2</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能（英語のみ）</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>no. 2</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
次に放送される英文を聞いて，それに関する質問（Question No. 1，No. 2）に答えよ。Question No. 1 に関しては，質問の答えとして最も適当なものを，下の 1 ～ 4 のうちから一つ選び，番号で答えよ。Question No. 2 に関しては，質問の答えとなるように，空所に 5 語以上 10 語以内の英語を補え。なお，英文は二回読まれる。

Question No. 1　Why do older people like the public library ?
1　They can borrow more books than other people.
2　They can enjoy after-school programs.
3　They can leave their children there.
4　They can take computer classes there.

Question No. 2　質問に対する答えとなるように，空所に 5 語以上 10 語以内の英語を補え。
Question：What have some towns done to keep library services ?
Answer　：They（　　）.
</td></tr>
</table>

	【放送文】 Many small towns that are trying to save money have considered getting rid of their public libraries. As they have found, however, public libraries provide many popular and helpful services to the community. Many parent groups strongly support public libraries because they offer after-school activities for children. Without these activities, many children would need someone to watch them in the afternoon. Many people without children also appreciate public libraries. For example, many older people enjoy visiting libraries to take free computer classes. For some elderly people, library classes are helpful in teaching them how to use e-mail or word processing programs. Despite these services, some towns are unable to keep the libraries open by themselves. The costs are high for a single town to run a library. Several small towns have shared one public library by combining their money. Even though their own libraries have disappeared, some towns can still offer library services to their citizens.
解答例	No.1: 1 No.2: have combined their money to share a library スクリプトを正確に聞き取るだけでなく、英語でポイントを簡潔にまとめる必要がある。
(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅰ ２ 内容 (1) ア　事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 エ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 2 年 7 月-2 年 1 月
対象教科:英語
測定内容の区分:標準タイプ
サンプル問題番号:2

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>コミュニケーション英語 I</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>複数の英語プレゼンテーションの発表内容を読み、それらのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>問 2</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>問 4</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>問 6</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>問 7</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>問 1</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>問 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 4</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>問 6</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 7</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能（英語のみ）</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 4</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 6</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>問 7</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

サンプル問題	次の英文は，英語プレゼンテーションの授業の様子である。読んであとの問いに答えよ。

Mr. Keynes：Have you ever heard of the term (ア)"Moon illusion"？ Even if you haven't, I'm sure you've experienced it. If you've ever looked at the Moon when it's low in the sky, it appears very large. If you look at it a few hours later when it's high in the sky, it appears much smaller.

But we do know that the Moon is always the same size during one night. A simple way to test this is to hold up your thumb at arm's length and compare it to the size of the Moon. You'll see that the Moon is the same size whether it's low or high in the sky.

So, the difference in the size you see is an illusion, and this is called the Moon illusion.

Why are our eyes tricking us？ Since ancient times, great scientific minds from Aristotle to Leonardo da Vinci have tried to understand why the Moon appears to change in size. But there are many explanations still being debated today. Now I have an assignment for you. I want you to research one of these possible explanations, and present to the class next week what you've learned.

(A week later)

Ririko's presentation

There are many theories for the Moon illusion, but I've researched a theory that we see things based on our sense of distance. Most people sense that the sky above our head is closer than the sky near the horizon. When the Moon is near the horizon, we tend to think the Moon is far and, therefore, it should appear smaller. In reality, the Moon is not farther or closer when it's near the horizon or overhead, so we perceive the Moon near the horizon is larger than what we think it should be.

Figure 1 shows a（　イ　）effect of a trick our brain can play on us. There are two white lines on what appears to be a railroad track. The upper line looks bigger, right？ In fact, the two lines are the same size. But when these lines are placed on a pattern of *diagonal and horizontal lines which looks like a railroad track, our brain starts to think that the upper line is farther so it should appear smaller. But both the upper and lower lines are the same size, and we conclude the upper line is bigger based on our sense of distance. This is one possible explanation of the Moon illusion.

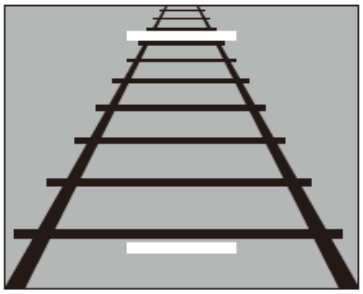


Figure 1

Masato's presentation

I've looked into a theory that the Moon illusion is caused by relative size perception. Let me show you how this works in Figure 2. The drawing on the left shows a small circle surrounded by big circles. On the right, the same size circle is surrounded by smaller circles. The circle on the right appears bigger even though they (ウ).

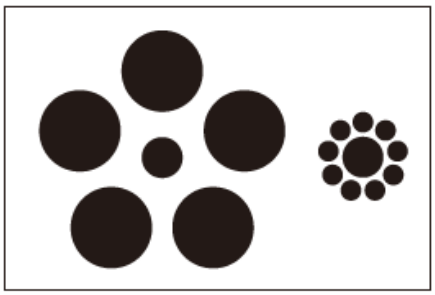


Figure 2

(エ)A phenomenon like this can happen with the Moon. When the Moon is low in the sky, it can be seen behind other objects like trees and houses. These other objects make the Moon look much bigger by comparison. But when the Moon is high up in the sky and isolated, there are no objects to compare it to, so it looks smaller.

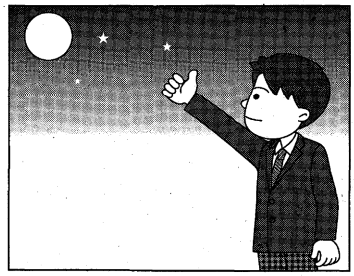
This is considered a possible explanation of the Moon illusion, but there is one problem with it: Pilots flying high in the sky also experience the Moon illusion. Pilots perceive the Moon is bigger when it's low in the sky even though there are no other objects in the sky to compare it to. So this theory does not fully explain the Moon illusion. In fact, the explanation of the illusion is still debated.

注) *diagonal and horizontal lines 斜線と水平な直線

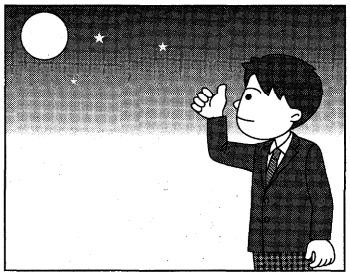
問1　下線部(ア)の内容を**30字以内の日本語**で具体的に説明せよ。ただし，句読点も字数に数える。

問2　ケインズ先生（Mr. Keynes）の説明の中で述べられた実験の様子を表すものとして最も適切なものを，次の**1**～**4**のうちから一つ選び，番号で答えよ。

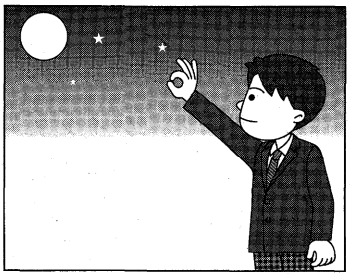
1



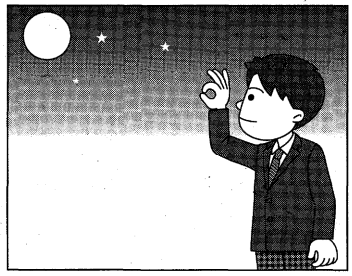
2



3



4



問3　Moon illusion に関してリリコ（Ririko）が説明している仮説について，英文を文脈に沿うように並べたとき，空所(a)～(c)に入れるのに最も適当なものを，下の**1**～**3**のうちからそれぞれ一つずつ選び，番号で答えよ。ただし，同じ番号を二度以上用いてはならない。

(a)
↓
(b)
↓
(c)
↓
The size of the rising or setting Moon looks larger.

1　To our senses, the sky overhead seems nearer to us than the sky near the horizon.

2　The Moon, however, is actually the same size wherever it is in the sky.

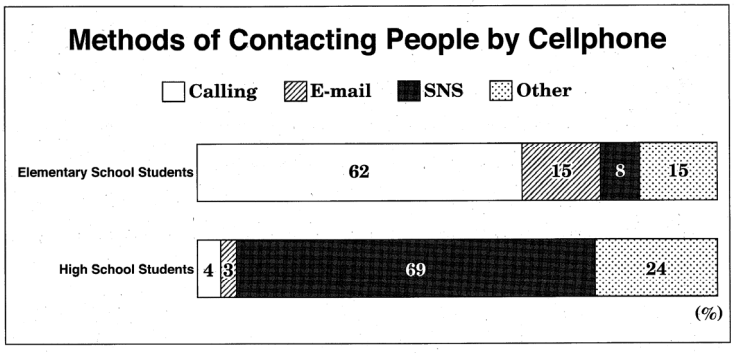
3　The Moon in the lower sky is thought to be more distant and so should be smaller.

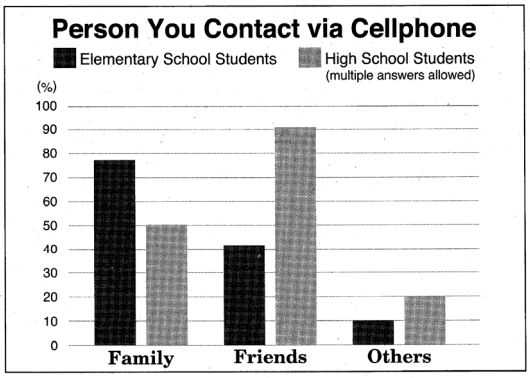
	問４　空所(**イ**)に入れるのに最も適当なものを，次の**１**～**４**のうちから一つ選び，番号で答えよ。 **１** big　　**２** different　　**３** similar　　**４** small **問５**　空所(**ウ**)を，**５語程度の適切な英語**で補え。 **問６**　下線部(**エ**)の具体的内容として**不適切なもの**を次の**１**～**４**のうちから一つ選び，番号で答えよ。 **１** The Moon near the horizon can be easily compared with other objects. **２** Objects standing on the horizon help the Moon look bigger. **３** The Moon above your head is not surrounded by anything. **４** The Moon high up in the sky seems to suddenly change in size. **問７**　リリコ（Ririko）とマサト（Masato）の発表が終わったあと，ケインズ先生（Mr. Keynes）は２人のプレゼンテーションを総括して以下のように述べた。空所を**５語以内の英語**で埋めよ。 **Mr. Keynes**：Thank you very much for your splendid presentations, Ririko and Masato. Class, I'd like you to be reminded that both Ririko and Masato, as well as I, mentioned that the real reason for the Moon illusion is (　　). **解答例** 問１　低い空にある月が，高い空にあるときよりも大きく見えること〔なる錯覚〕。 問２　１ 問３　(a) １ (b) ３ (c) ２ 問４　３ 問５　are (of) the same size 問６　４ 問７　・not clear　・still being debated 各発言者の発言のポイントを整理し、それを簡潔に整理したり、まとめたりする力が必要。
(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅰ ２ 内容 (1) イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 2年7月-2年1月
対象教科:英語
測定内容の区分:標準タイプ
サンプル問題番号:3

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>コミュニケーション英語Ⅱ</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>グラフの内容を読みとり、それを適切な英語で表現できるかを測定する。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>—</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能(英語のみ)</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ある町で，小学生と高校生各100人を対象に，携帯電話の使用に関するアンケートを行った。次の(A)は，「携帯電話での連絡手段」，(B)は「携帯電話で連絡を取る相手（複数回答可)」のアンケート結果をそれぞれ示したグラフである。(A)と(B)の<u>両方のグラフの情報を使って</u>，この町の小学生と高校生の携帯電話の使用に関するそれぞれの特徴を25語程度の英語で説明せよ。

(A)


(B)


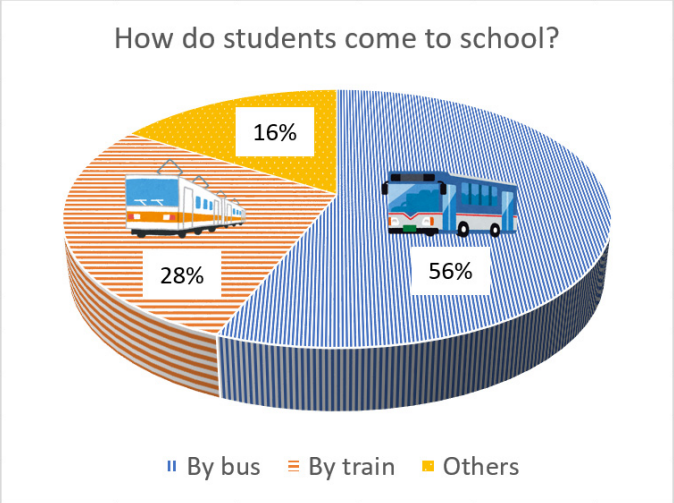
</td></tr>
</table>

解答例	解答例：Using cellphones, elementary school students mostly call their parents, while many high school students communicate with their friends by SNS. 複数のグラフの情報を使って意見を作成できるかがポイント。
(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。 (2) エ　説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト　2 年 7 月-2 年 1 月
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：4

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>コミュニケーション英語 I</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>身近なテーマで，第三者について扱った図や表に関して，聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>―</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>―</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能（英語のみ）</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>―</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>（下記の問題は，「話すこと」（発表）に関する問題サンプルです。実際には，受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。）

以下の円グラフは，「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて，説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後，何が示されているかを英語で説明しなさい。
 
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>解答例：At this school, students come to school more by bus than train.
解説：グラフの特徴を読み取り，英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも，「ほとんどがバスか電車で通学している」など，解答パターンは様々であるが，内容が矛盾しないよう，「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。</td></tr>
</table>

(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。 ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア　リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。